

第5回

日本を愛するキリスト者の会

講演会

どなたでもご参加ください

入場料1000円

席上献金あり

—近代史と伝道を考える—

日時

2017年

10月14日 土 14:00-16:30

(東京) ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会 ウェスレイホール

「日本列島全体を〈巨大な洗脳の檻〉と化したGHQ—その檻から脱するための解毒剤」

中国の日本人に対する暴虐の数々、また日本人は歴史的に見てどのような民族なのか。前者の暴虐を教えなくなったのも、GHQ（アメリカ占領軍）の仕業です。後者については、戦国時代から幕末・明治にかけて来日した欧米人の記録をみれば、日本人が国際的にどのように評価されていたかがよくわかります。

講師：山下英次氏（大阪市立大学名誉教授）



「謝罪運動は日本のリバイバルを妨げる—聖書学的視点から」

中国・韓国等への謝罪運動は、的を得たものなのか。謝罪運動は日本にリバイバルをもたらすものか、それとも妨げるものなのか。聖書信仰、及び教会を牧会する牧師の立場から、そのことを再検討したいと思います。

講師：三谷和司牧師（神木イエスキリスト教会）



講演1

講演2

主催

日本を愛するキリスト者の会

三谷康人（会長）

久保有政（事務局長）

手束正昭（副会長）

青木仁志（顧問）

講師紹介



講師：山下英次氏

大阪市立大学名誉教授(経済学博士、東京在住)大学では国際経済(国際通貨システムやEU経済)を教えてきたが、近年は、日本の近代史を対外関係から見直すことに重点を置き、歪んだ内外の近現代史観を改める活動の最前線で、他の学識人らとともに積極的な発言をしてきた。好きな言葉は「一身独立して一国独立する」(福沢諭吉『学問のすすめ・三編』)



講師：三谷和司牧師

神木イエスキリスト教会牧師。三谷康人・当会会長の次男。ノア・ミュージック・ミニストリー代表。関西学院大学神学部と「Christ For The Nations Institute」(米国)を卒業。1983年に自宅で開拓伝道を始め、今では横浜に建設したヨーロッパ風レンガの塔のある教会で牧会している。著書に「賛美の回復」(キリスト新聞社)などがある。

ご挨拶 会長:三谷康人

多くの日本人は、近代における日本の歩みを、戦後教育の中で偏った形で教えられてきたように思います。そのために日本での福音伝道も的外れなものになっていなかったでしょうか。今回の講師は、そのゆがめられた歴史観と伝道法を健全なものに戻してくださる方々です。どうぞ熱心に耳を傾け、日々の信仰の歩みに役立てていただければと思います。

会の設立趣意より

キリストの福音こそが、日本の魂を復興させる力であり、日本人のアイデンティティを支える柱です。教会は日本人の傷ついたセルフイメージを健全化し、日本を深く愛してやまない神に、その心に向かわせるための働きの中心に立ち戻るべきです。

同じ思いの方々がこの会に結集し、ともにキリスト者として、神と日本のために貢献していくためにこの会が用いられますことを願っています

会場案内

ウェスレアン・ホーリネス教団・淀橋教会
ウェスレイホール
東京都新宿区百人町1-17-8
JR総武線・大久保駅下車 徒歩1分
JR山手線・新大久保駅下車 徒歩3分



お問い合わせ

日本を愛するキリスト者の会事務局
兵庫県高砂市荒井町紙町1-34 高砂教会内
TEL: 079-442-4854 FAX: 079-442-4878
Email: info@nihon-ai.com
HP: <http://nihon-ai.com>



当会ではこの働きに賛同して下さる会員を募集しています。日本のため、ともに集結しましょう。ご希望の方は事務局までお問合せください。